

NIJIRO MIRAI

Vol.1



虹色未来
プロジェクト

【子育て、教育編】

希望あふれる未来を逗子市から
子ども社会に起きている問題は大人社会の縮図。子育て
の課題解決は未来につながっています。持続可能な世界
を実現することを念頭に、逗子のまちづくりを進めてい
きます。

CONTENTS

- 子育て支援を推進する理由(桑原ビジョン)
- 市民がつながる場所づくり(スマイルの活用)
- 誰一人取り残さない教育とは
- 根本的な改革が必要な保育園問題
- 小児医療費助成で子どもたちの健康を守る
- ◆気になる逗子市の財政は？

桑原やすえ 検索



公式 HP



無所属

桑原
やすえ

PROFILE

討論資料

- 1961 東京都港区生まれ
東京女子体育大学体育学部卒業、サンケイリビング新聞
社広告営業、M&M 研究所 コンサルタントアシスタント
- 1993 結婚後、夫の住む逗子に転入。出産を機に子育て支援
活動を開始
- 2001～2010 育児サークル連絡協議会代表
- 2001～2013 逗子市社会福祉協議会子育てネットワーク
推進委員会委員長
- 2009 逗子市社会福祉協議会理事
- 2009 子育て支援組織「LOCO MAMA NETWORKS」設立 代表
- 2009～2017 逗子市教育委員 2016～2017 教育委員長
- 2009～2010 かながわ女性会議 男女共同参画推進員
- 2014～2022 逗子市体験学習施設スマイル親子遊び場事業
統括責任者
- 2019 子育て支援組織「レインボーグロウ」設立 代表
- 2021 放課後等デイサービス「海山時間」設立 経営企画
- 趣味・特技
逗子市内一周駅伝、フルマラソン、サーフィン、懸垂逆上がり
- 家族
夫、3人の娘(28・24・22歳)、愛犬ラキ(保護犬)、愛猫チャビ

ATTENTION



「ずしプレイパーク」打ち切り！？ 守りたい、逗子の宝物

第一運動公園などで開催されている「ずしプレイパーク」。“自分でき
めて自由に遊ぶ”を合言葉に、みんなでつくる遊び場です。
主催している NPO 法人のメンバーが、子ども達の外遊びの場を作り
たい、親子がつながる場にしたいと、幼いわが子を育てながら形に
するのを見てきました。
「ずしプレイパーク」として市民協働事業となったのは 10 年ほど前。
毎回多くの親子で大人気、だったのですが…。
なんと今年度いっぱい打ち切りに！
大切な逗子の宝物、失いたくない…。続けていくための道はないのか。
皆さんと考えていきたいです。

第1回虹色ライブ「親子でできる防災」開催 YouTubeで、録画を視聴できます！

子ども防災アドバイザーの大塩さやかさんをお招きし、
「親子でできる防災」についてライブ配信しました。

- * 備蓄食パーティー
- * 防災グッズと一緒に準備
- * 子どもと避難ごっこ etc

子どもと楽しみながらできて、いざと
いうときの子どもの気持ちまで先取り
した準備。日常でできる工夫が満載で
す。アーカイブはいつでも視聴可能な
ので、ぜひご覧ください。シェアも大
歓迎です！



第2回 2月20日(日)「子どもに残したい環境」
第3回 3月6日(日)「子どもの食に迷ったら」

PROJECT



虹色未来プロジェクトとは

子育て支援を入口に「様々な世代が交流し、生かし合う、温かな結びつきのある
まちにしたい」「誰もが自分色に輝き、虹色のような明るい未来をつくりたい」
そんな思いを共にする仲間と立ち上げたプロジェクトです。

●一緒に活動しませんか？

虹色未来プロジェクト
逗子市久木 4-17-12 ☎090-1022-6062
kuwaharayasue2022@gmail.com

●ご支援をお願いします

口座名：桑原やすえ虹色未来プロジェクト
かながわ信用金庫 逗子支店 (普通)
口座番号：1259695

子育て支援30年 地域福祉20年 桑原やすえ



(元逗子市教育委員長)

●市民がつながる場所づくり (スマイルの活用)

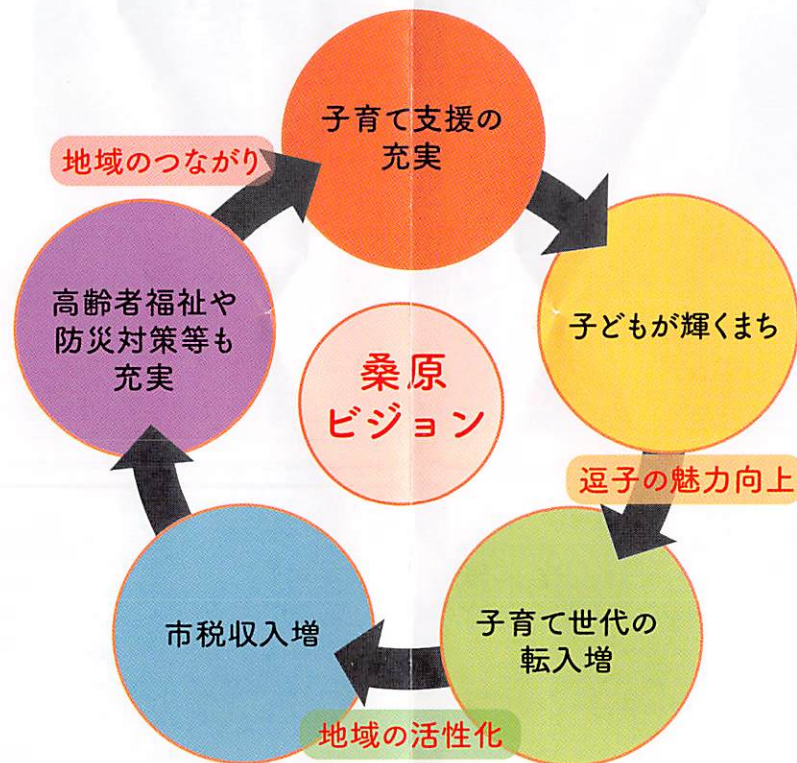
第一運動公園内の体験学習施設スマイル。今ある児童館的機能をもっと充実させるために、近隣住民との交流や市民力を活用したプログラムを取り入れます。さらに託児付きコワーキングスペースや多世代交流の場、子どもの学習支援の場を設けるなど、機能を増やします。

公園と室内施設を備える複合的なこの場所を、逗子の象徴となる「子どもを中心にした多世代がつながり支え合う場」に発展させていきます。

子どもが輝く逗子に

子育て支援を推進する理由

子どもたちがイキイキ成長できるまちは元気なまち。
多世代がつながり、活気あふれる逗子をつくります。



●誰一人取り残さない教育とは

いじめや不登校、障がい者への理解不足、一見問題がなさそうに見えていても不安や悩みを抱えているなど、生きづらさを感じている子どもは少なくありません。そこで、研修を受け専門性を身につけた市民（サポーター）を学校やふれスクなどに派遣して子ども一人一人に目を向け、先生もサポートできる体制を作ります。さらに、教員の多忙化を解消するためにも、コミュニティスクール化を念頭に置いた地域で支える学校を目指していきます。

また個々の特性に合った教育を実現するために、専門的な人材やICTを活用した個に応じた教育プログラムの導入に着手します。



●根本的な改革が必要な保育園問題

2021年10月の逗子市の保育園待機児童は18人（0歳の待機が12人）。保育士不足で定員を増やせないことが原因の一つです。保育士の待遇改善に取り組み、定員拡大につなげます。また、ファミリーサポートセンターの利用料の補助や柔軟に対応できる預かり方、託児付きコワーキングスペースといった多様な保育システムを構築し、子育て世代のニーズに応じながら、子どもたちが健やかに育つ環境を第一に考える市にしていきます。



◆気になる市の財政は

2017年（H29）の緊急財政対策によって財政は着実に回復し、市の貯金（財政調整基金）は昨年3月に19億円、今年3月には23億7千万円になる見込みです。市民一人当たりの積立額は県内でも上位に。重要な政策に予算を投入していける段階にきています。そのためにも、子育て・教育にもっと力を入れ、生産人口である子育て世代の転入・定住が必須です。もちろん、コロナ対策、防災、高齢者福祉、障がい者福祉、公共施設再整備などの課題にも財源を有効活用していきます。



●小児医療費助成で 子どもたちの健康を守る

少子化対策や、子育て世代の転入者を増やすためには経済的支援を充実させることは基本です。逗子市の小児医療費補助は残念ながら、三浦半島でワースト1。経済的支援の第1弾として中学校卒業までの所得制限なしに取り掛かります。

自治体	通院対象年齢	所得制限
葉山町	中学校卒	なし
横須賀市	中学校卒	なし
三浦市	中学校卒	なし
鎌倉市	中学校卒	就学前までなし 就学後から所得制限
逗子市	中学校卒	0歳のみなし 1歳から所得制限

三浦半島の小児医療費助成制度の比較（2021年4月時点）